

科目名	卒業演習 「遊びと保育者の援助について考えるⅡ」		担当教員	由 田 新		
			担当形態	単独		
テキスト	資料を適宜用意します。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題について問いつづけ、検討することができる。 ・保育者として物的環境を整え、人的環境としてはたらくことについて理解し説明できる。 ・意図を持ってあそびにかかわることについての理解し、説明できる。 ・自分のあそびへのかかわりを記録し、それを自分なりに「ふりかえる」ことができる。 <p>■授業の概要</p> <p>あそびとあそびに対する保育者の援助について考えます。前期「専門総合演習」での学びを受けて、遊びと保育者の間接的な援助（環境をつくる・自ら環境となること）、そして保育者の直接的な援助について保育現場の見学・保育参加等を通して深めていきます。最終的には、自分の解決すべき課題について卒業レポートにまとめます。</p> <p>受講者同士の話し合いを重視します。積極的に取り組む姿勢をもつことを望みます。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 フィールドワークへ向けて／学びの計画づくり 第2回 フィールドワーク① 第3回 フィールドワーク振り返り 第4回 フィールドワーク② 第5回 フィールドワーク振り返り 第6回 フィールドワーク③ 第7回 フィールドワーク振り返り 第8回 フィールドワーク④ 第9回 フィールドワーク振り返り 第10回 フィールドワーク⑤ 第11回 フィールドワーク振り返り 第12回 フィールドワーク⑥ 第13回 フィールドワーク振り返り 第14回 レポート発表・まとめ 第15回 学びの成果発表会</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に際し、指定された資料を読み、考えをまとめてくること。 ・フィールドに出た際に、子どもの遊びへのかかわりのエピソードをまとめてくること。 ・授業後に、その日の学びを整理すること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの状況 — 20% ・授業内での話し合いでの発言内容・授業内のレポート — 40% ・卒業レポート — 40% 						
参考文献	「演習 保育内容総論 子どもの生活・環境・遊びに向き合う」萌文書林 「遊びを中心とした保育」萌文書林 「子どもも保育者も笑顔になる！ 遊び保育のための実践ワーク」萌文書林 「遊び保育の実践」ななみ書房		特記事項	フィールドワークにかかる費用等は個人負担となります。 【課題等のフィードバック方法】 提出物については授業内で話し合いに用い、その場で教員もコメントをします。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼			
			保			